

文字関数 運用ガイド

【CADWe'll Tfas 7 編】



株式会社ダイテック

平成 26 年 12 月

<1 版>

はじめに

この度は、「CADWe'll Tfas 7（以下「CADWe'll Tfas」）」をご採用いただき誠にありがとうございます。

本書「文字関数運用ガイド【CADWe'll Tfas 7 編】」は、「CADWe'll Tfas」をお使いいただく方のために、「文字関数」の使用方法や運用について説明したものです。

本書に書かれている事項をご自分で操作しながら、「CADWe'll Tfas」の動作・結果・機能を確認していただき、「CADWe'll Tfas」を幅広くご活用ください。本書のご説明に合わせてサンプル図面もご用意しております。

設備設計・施工業務に最適な「CADWe'll Tfas」を、是非ご使用のパソコンの常用ソフトとして末永くご活用ください。

株式会社ダイテック

- 「CADWe'll Tfas 7」は株式会社ダイテックの商標であり、「CADWe'll Tfas 7」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ダイテックに帰属します。
- Microsoft, Windows, Windows 8.1, Windows 8, Windows 7, Windows Vista, DirectX および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載されている全ての社名、製品名はそれぞれの会社の登録商標または商標です。
- 本文中に™、®、©は明記していません。
- 本書の記載内容は、予告なく変更することがあります。

目次

1. 文字関数の概要

- 1-1 「文字関数」とは..... 1
- 1-2 「文字関数一括処理」ツール..... 1

2. 文字関数運用の流れ

- 2-1 「文字関数」を追加する..... 3
- 2-2 「文字関数」を使用する..... 5
- 2-3 「文字関数一括処理」ツールで CSV 出力..... 7
- 2-4 「Excel」で CSV データを修正..... 8
- 2-5 「文字関数一括処理」ツールで一括変更..... 9

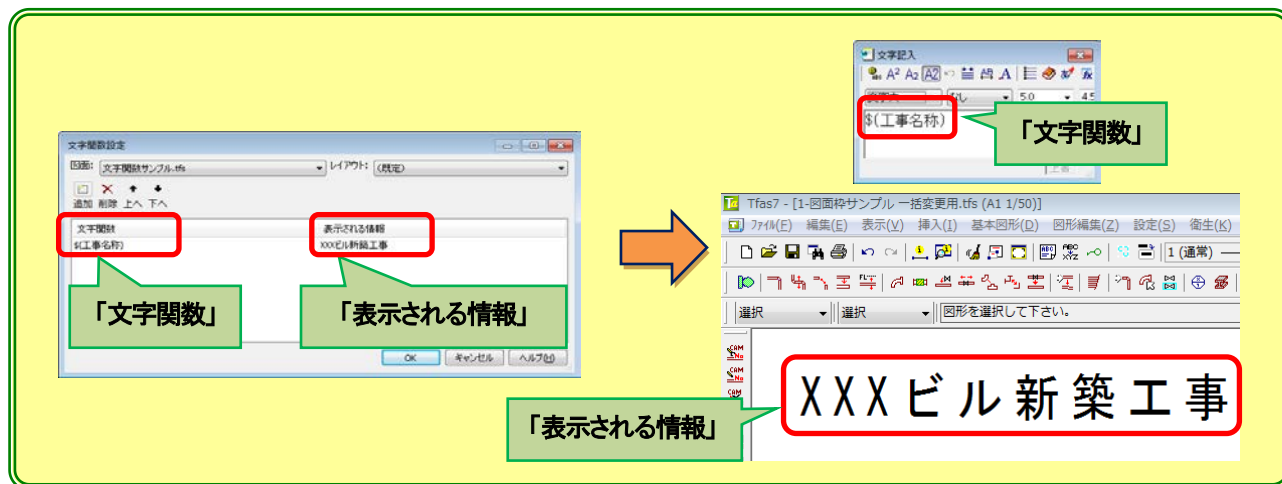
3. テンプレートによる文字関数の運用

- 3-1 運用の概要..... 10
- 3-1 運用の手順..... 10

1. 文字関数の概要

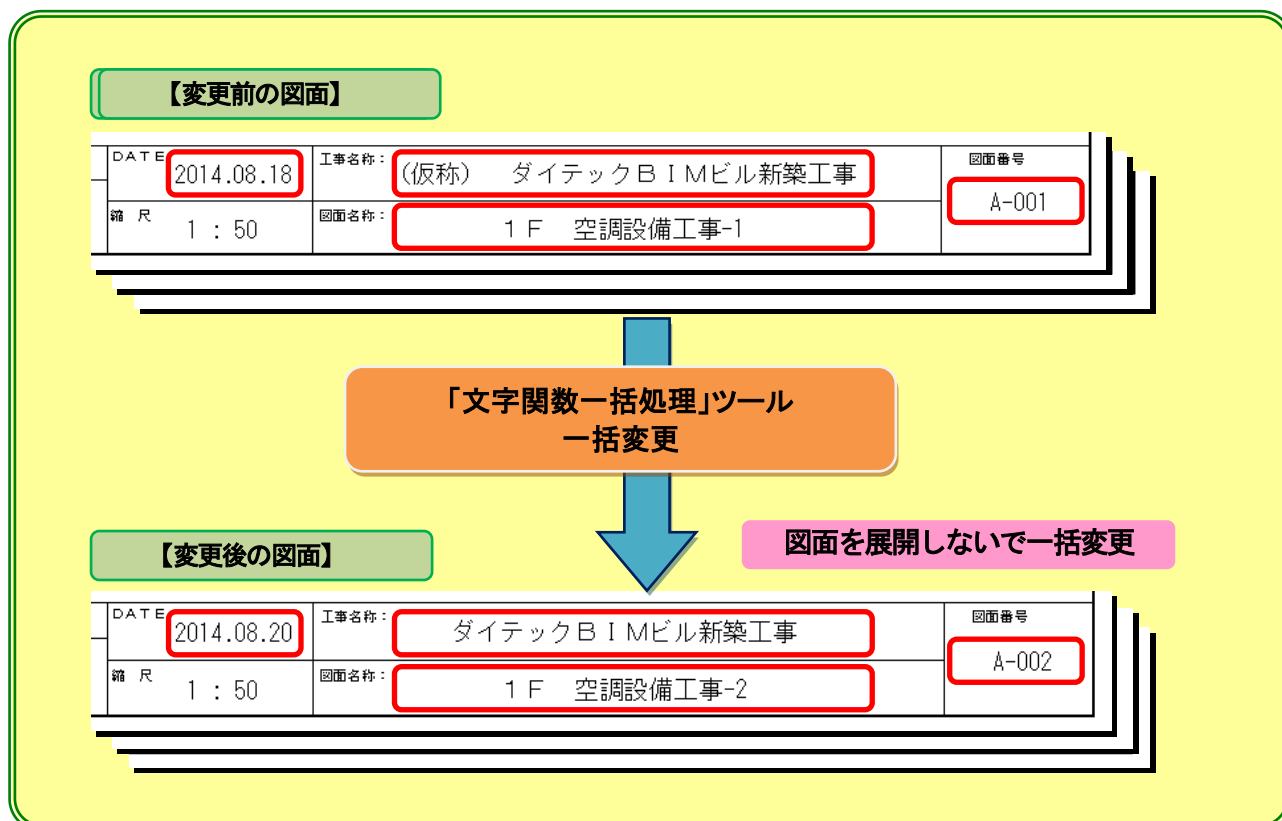
1-1 「文字関数」とは

文字の入力時に「文字関数」を使用することで、「文字関数」に関連付けられた文字を表示する機能です。



1-2 「文字関数一括処理」ツール

「文字関数一括処理」ツールを使用すると、図面を展開することなく、複数の図面の文字を一括で変更することができます。



2. 文字関数運用の流れ

①「文字関数」の追加



②「文字関数」を使用



③「文字関数一括処理」ツールで CSV 出力



④「Excel」で CSV データを修正




⑤「文字関数一括処理」ツールで一括変更

※CSV データの修正時に Microsoft Excel を使用しています。

2-1 「文字関数」を追加する

ここでは、サンプル図面を使用して「文字関数」を追加する方法を説明します。

手順(1) サンプル図面を開く

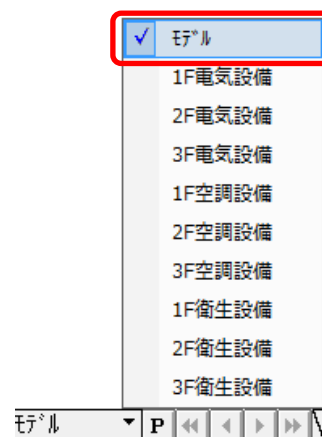
- ① ツールバーの  [開く]をクリックします。
- ② サンプル図面「文字関数サンプル.tfs」を選択し、<開く>ボタンをクリックします。


※サンプル図面はダウンロードしたファイルに含まれています。

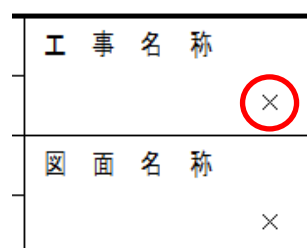
手順(2) 「文字関数」を追加


- ① 工事名称等を作図します。
左下の表示が「モデル」に設定されていることを確認します。
「モデル」でない場合はレイアウトをクリックして「モデル」に切り替えます。

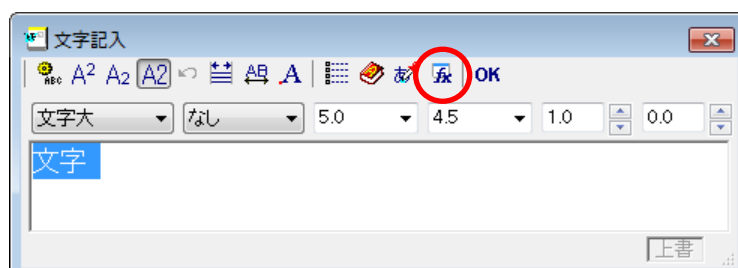
工事名称はすべての図面で同一の場合が多いため、モデルに「文字関数」を使用して作図します。




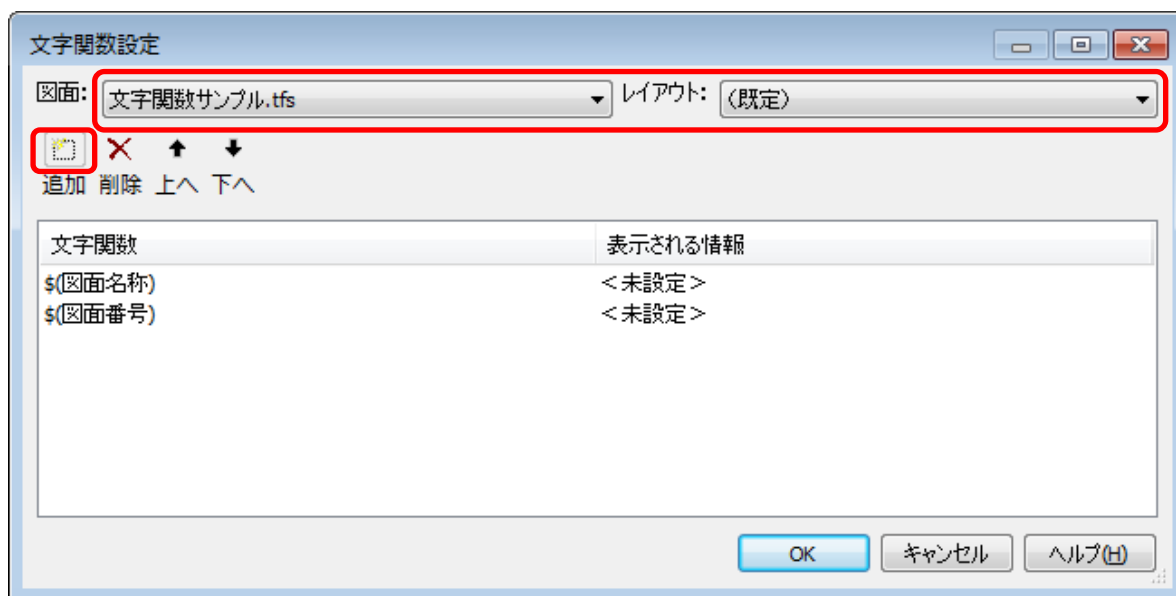
- ② ツールバーの  [文字・文字記入]をクリックします。
- ③ 文字の基準点を入力します。
今回は工事名称欄の補助点をクリックします。



- ④ [文字記入]ダイアログが表示されます。
 [文字関数]ボタンをクリックします。

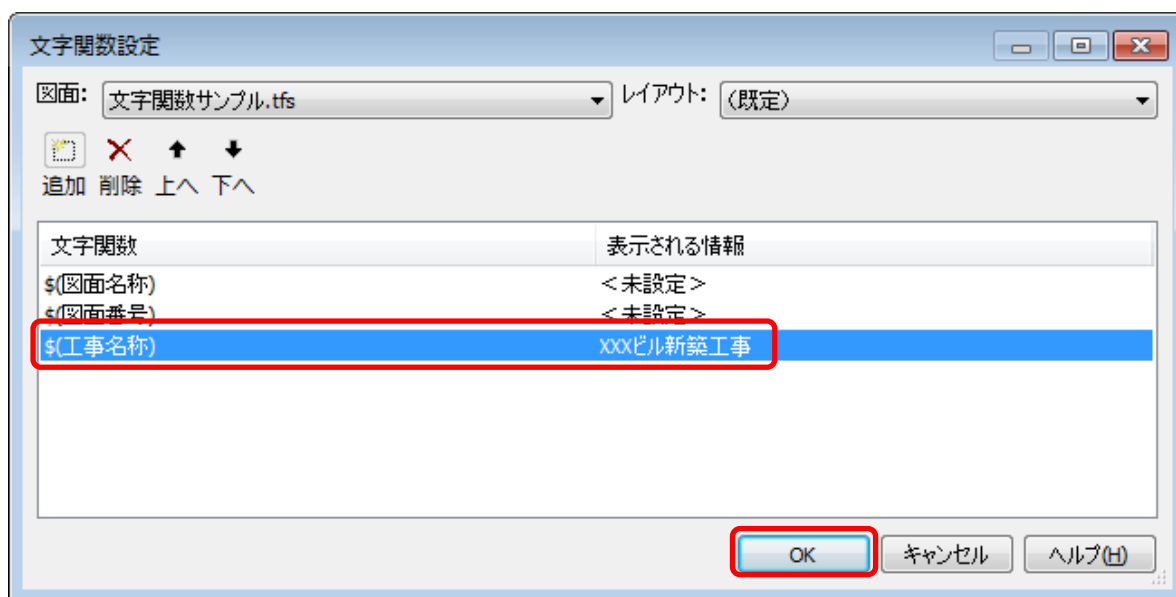


- ⑤ 【文字関数設定】ダイアログが表示されますので  [追加] ボタンをクリックします。



工事名称は<規定>(モデル用)に「文字関数」を追加します。

- ⑥ 以下のように入力します。
“\$(工事名称)”を選択して<OK>ボタンをクリックします。



「文字関数」の入力

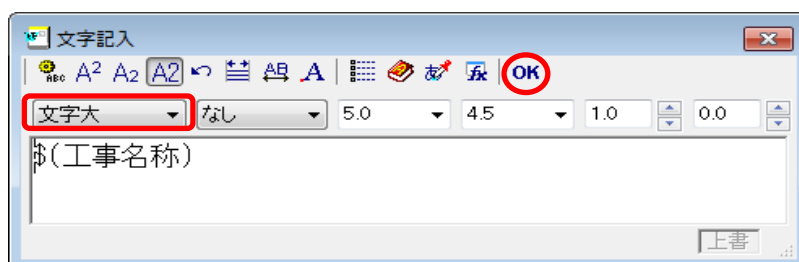
「文字関数」には “\$()” が自動的に付加されるので、括弧内の名称のみ入力します。

2-2 「文字関数」を使用する

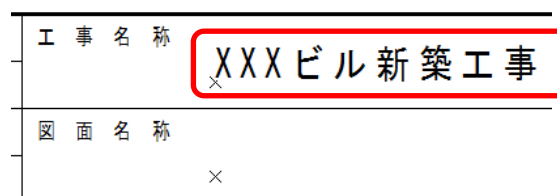
「文字関数」を使用して、文字作図します。

手順(1)

- ① [文字関数設定]ダイアログを閉じると、[文字記入]ダイアログの入力エリアに、選択していた「文字関数」“\$(工事名称)”が挿入されます。
- ② 「文字パターン」を「文字大」に設定して<OK>ボタンをクリックします。



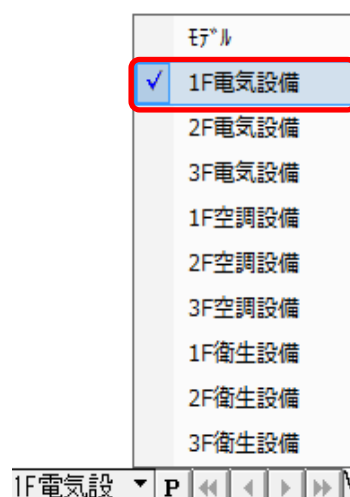
- ③ 「文字関数」“\$(工事名称)”に設定した文字列が作図されます。





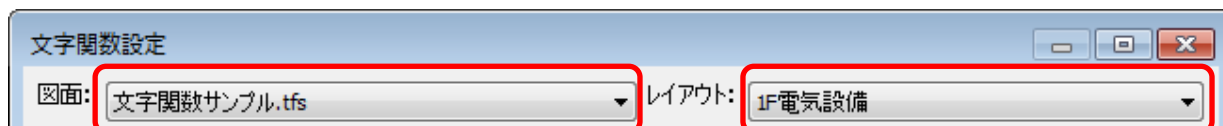
手順(2)

- ① 作成済のレイアウトに「図面名称」を作図します。レイアウトをクリックすると一覧が表示されますので「1F 電気設備」をクリックして切り替えます。

「図面名称」「図面番号」等は図面ごとに異なるため、各レイアウトに「文字関数」を使用して作図します。

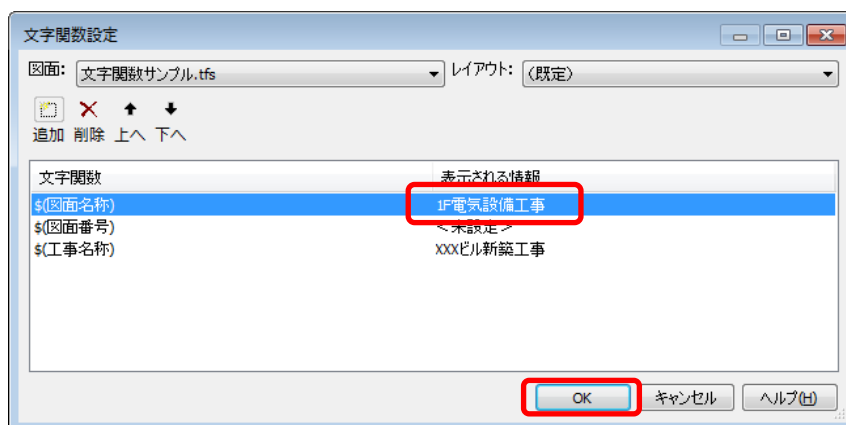


- ② ツールバーの  [文字・文字記入]をクリックします。
- ③ 文字の基準点(図面名称欄の補助点)をクリックします。
- ④ [文字記入]ダイアログが表示されますので  [文字関数]ボタンをクリックします。
- ⑤ [文字関数設定]ダイアログが表示されますので以下のように設定します。

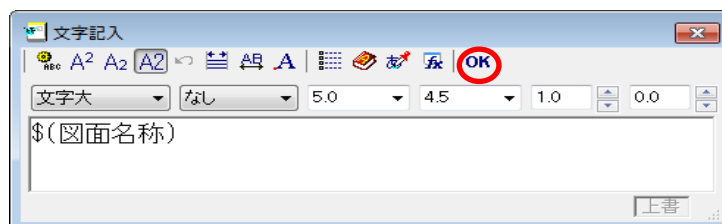


「図面名称」はレイアウト毎に「文字関数」を使用して作図します。

- ⑥ 以下のように入力します。
\$(図面名称)を選択して<OK>ボタンをクリックします。



- ⑦ [文字関数設定]ダイアログを閉じると、[文字記入]ダイアログの入力エリアに「文字関数」“\$(図面名称)”が挿入されます。<OK>ボタンをクリックします。



- ⑧ 「文字関数」“\$(図面名称)”に設定した文字列が作図されます。

工 事 名 称	XXXビル新築工事
図 面 名 称	1F電気設備工事

2-3 から 2-5 では、「文字関数一括処理」ツールを使用して、図面を展開することなく、複数の図面の文字を一括で変更する方法を説明します。

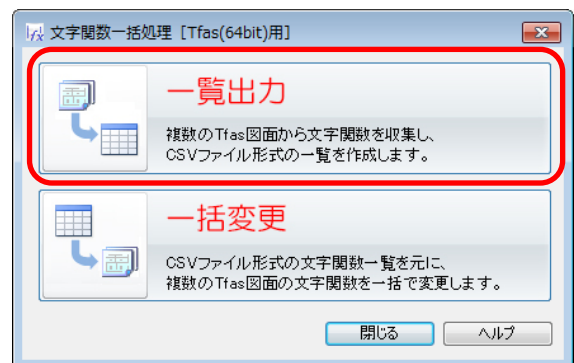
2-3 「文字関数一括処理」ツールで CSV 出力

手順(1) 「文字関数一括処理」ツールを起動

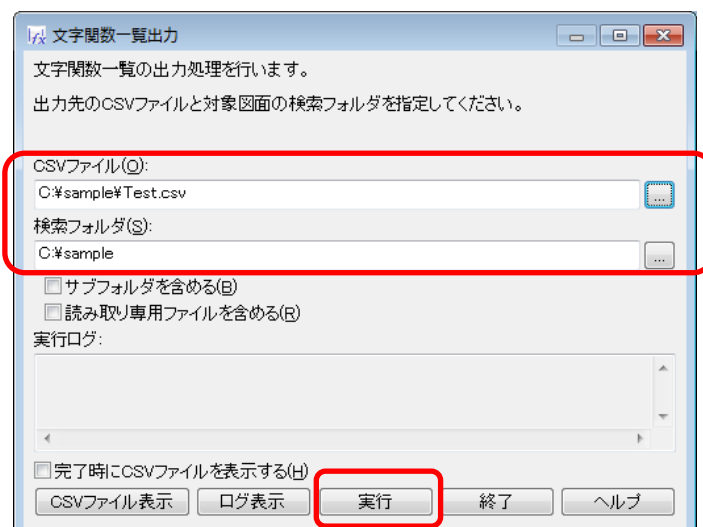
- ① スタートメニューから[すべてのプログラム]-[CADWe'll Tfas 7]-[Tfas 7 文字関数一括処理]をクリックします。

手順(2) 一覧を出力

- ① [文字関数一括処理]ダイアログが表示されますので[一覧出力]をクリックします。



- ② [文字関数一覧出力]ダイアログが表示されます。
[CSV ファイル][検索フォルダ]を設定します。
[CSV ファイル]:ここでは「Test.CSV」
[検索フォルダ]:ダウンロードしたサンプル図面のフォルダ



- ③ <実行>ボタンをクリックします。

- ④ <CSV ファイル表示>ボタンをクリックすると「Excel」が起動して一覧が表示されます。

【Excel での表示例】

	A	B	C	D	E
1	図面パス	レイアウト	\$(工事名称)	\$(図面番号)	\$(図面名称)
2	¥1-図面枠サンプル一括変更用.tfs		(仮称)XXXビル新築工事	X-XXX	XXX設備工事
3	¥2-図面枠サンプル一括変更用.tfs		(仮称)XXXビル新築工事	X-XXX	XXX設備工事
4	¥3-図面枠サンプル一括変更用.tfs		(仮称)XXXビル新築工事	X-XXX	XXX設備工事
5	¥4-図面枠サンプル一括変更用.tfs		(仮称)XXXビル新築工事	X-XXX	XXX設備工事
6	¥5-図面枠サンプル一括変更用.tfs		(仮称)XXXビル新築工事	X-XXX	XXX設備工事
7	¥図面枠サンプル.tfs				
8	¥文字関数サンプル-完成.tfs		XXXビル新築工事		
9	¥文字関数サンプル-完成.tfs	1F衛生設備		S-001	1F衛生設備工事
10	¥文字関数サンプル-完成.tfs	1F空調設備		A-001	1F空調設備工事
11	¥文字関数サンプル-完成.tfs	1F電気設備		E-001	1F電気設備工事

2-4 「Excel」で CSV データを修正

手順(1) CSV データを修正

- ① 今回変更するのは先頭から 5 図面のみのなので、それ以外の行を削除します。

	A	B	C	D	E
1	図面パス	レイアウト	\$(工事名称)	\$(図面番号)	\$(図面名称)
2	¥1-図面枠サンプル一括変更用.tfs		(仮称)XXXビル新築工事	X-XXX	XXX設備工事
3	¥2-図面枠サンプル一括変更用.tfs		(仮称)XXXビル新築工事	X-XXX	XXX設備工事
4	¥3-図面枠サンプル一括変更用.tfs		(仮称)XXXビル新築工事	X-XXX	XXX設備工事
5	¥4-図面枠サンプル一括変更用.tfs		(仮称)XXXビル新築工事	X-XXX	XXX設備工事
6	¥5-図面枠サンプル一括変更用.tfs		(仮称)XXXビル新築工事	X-XXX	XXX設備工事
7					
8					

- ② 以下の表示のように項目を修正します。

	A	B	C	D	E
1	図面パス	レイアウト	\$(工事名称)	\$(図面番号)	\$(図面名称)
2	¥1-図面枠サンプル一括変更用.tfs		ABCビル新築工事	X-001	1F設備工事
3	¥2-図面枠サンプル一括変更用.tfs		ABCビル新築工事	X-002	2F設備工事
4	¥3-図面枠サンプル一括変更用.tfs		ABCビル新築工事	X-003	3F設備工事
5	¥4-図面枠サンプル一括変更用.tfs		ABCビル新築工事	X-004	4F設備工事
6	¥5-図面枠サンプル一括変更用.tfs		ABCビル新築工事	X-005	5F設備工事

- ③ データを CSV 形式で保存します。

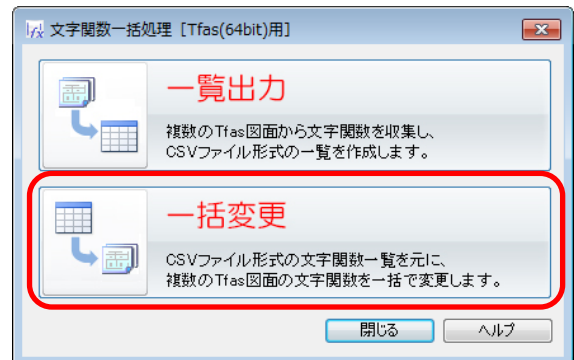
2-5 「文字関数一括処理」ツールで一括変更

手順(1) 「文字関数一括処理」ツールを起動

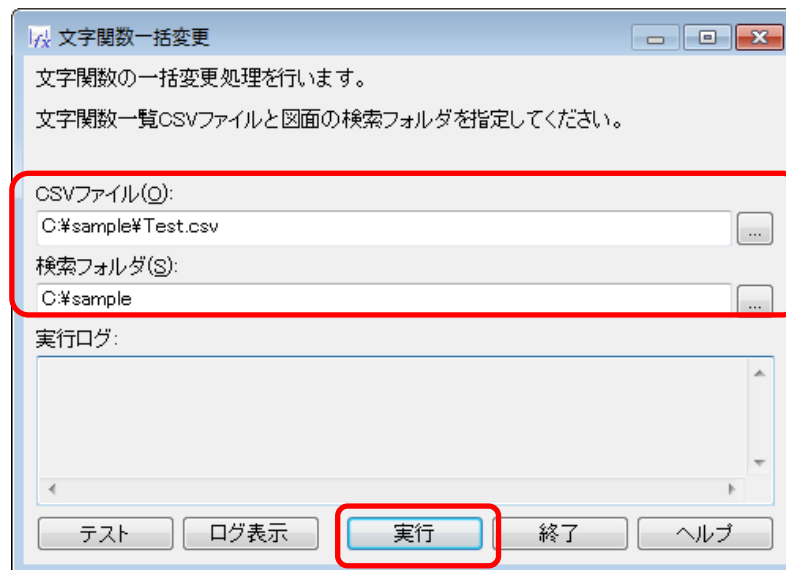
- ① 「文字関数一括処理」ツールが終了していたら再度起動します。

手順(2) 一括で変更

- ① [文字関数一括処理]ダイアログが表示されますので[一括変更]をクリックします。



- ② [文字関数一括変更]ダイアログが表示されますので以下のように[CSV ファイル][検索フォルダ]設定し、<実行>ボタンをクリックすると、[実行ログ]が表示され処理が終了します。



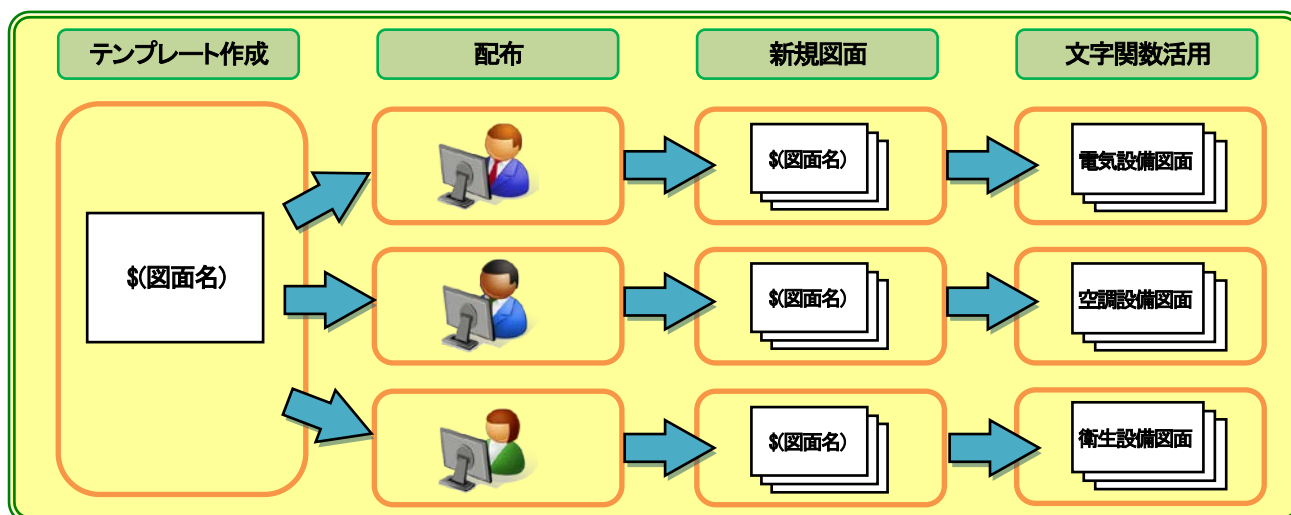
- ③ <終了>ボタンをクリックします。
- ④ サンプル図面「1-図面枠サンプル 一括変更用.tfs」を開いて、図面枠内の情報を確認します。

工 事 名 称	ABCビル新築工事	図 面 番 号	
図 面 名 称	1F設備工事		X-001

3. テンプレートによる文字関数の運用

3-1 運用の概要


ここでは、テンプレート設定を使用して、「文字関数」を有効に活用する方法を説明します。自社や指定の図面枠を運用したり、物件ごとの設定に応用することができます。



3-1 運用の手順

手順(1) サンプル図面を開く

テンプレートとする図面を用意し、「文字関数」を追加します。ここでは、サンプル図面使用してテンプレートを作成します。

- ① ツールバーの  [開く]をクリックします。サンプル図面「図面枠サンプル.tfs」を選択し、<開く>ボタンをクリックします。

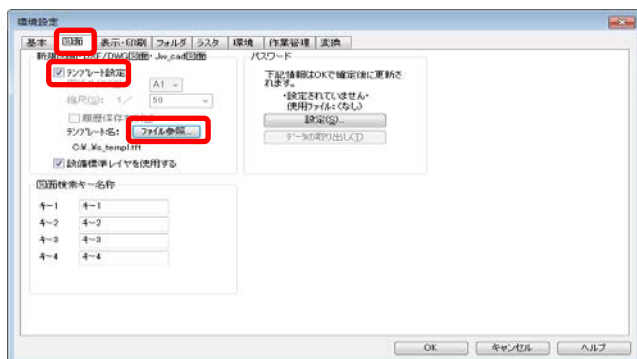
手順(2) テンプレートファイルを保存

- ① メニューバーの[ファイル]ー[テンプレートの保存]で保存します。

手順(3) テンプレートを設定

- ① メニューバーの[設定]ー[環境設定]をクリックします。

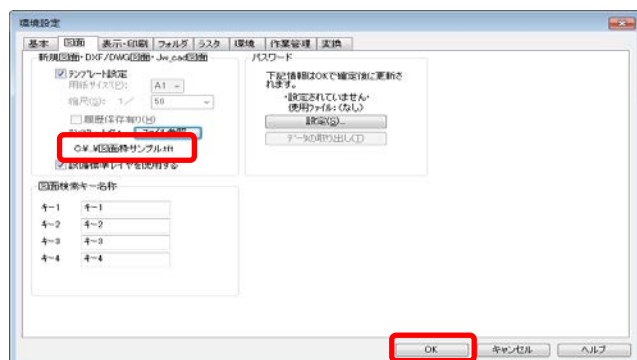
- ② [環境設定]ダイアログが表示されますので[図面]タブをクリックします。
[テンプレート設定]チェックボックスを「ON」に設定します。<ファイル参照>ボタンをクリックします。



※注意

ここでは、演習のため、テンプレートファイルを設定しますが、現在、設定しているテンプレートファイルがある場合、「フォルダ名」「ファイル名」を記録して元に戻せるようにして下さい。

- ③ [テンプレートの選択]ダイアログが表示されますので、手順(2)で保存した[フォルダ]と[ファイル名]を設定します。
- ④ [テンプレート名]に新しいファイル名が設定されますので<OK>ボタンをクリックします。



手順(4) 新規図面で確認

テンプレートファイルが設定されましたので新規図面を開いて確認します。

- ① ツールバーの [新規ファイル]をクリックします。
設定したテンプレートファイルを基に新規図面が開かれます。

- ② メニューバーの[ファイル]ー[用紙サイズ・縮尺設定]をクリックします。[図面情報]ダイアログが表示されますので<文字関数>ボタンをクリックします。



- ③ [文字関数]ダイアログが表示されます。「文字関数」が設定されていることを確認できます。

